

パール通信

vol.4
6.7.2010



p2 イベント報告

- ◎伊勢新聞パール倶楽部設立記念
第一回全体総会

p3 イベント報告

- ◎津都ホテルランチバイキング&
津観音さん見学
- ◎京都ツアー『知られざる本当の京都』

p4 連載企画

- ◎「親バカ子自慢」第四回
ブリザーブドフラワー専門店 RICHILD
寺西可奈さん
- ◎「組曲～コラボの現場～」第四回
39の輪(四日市市)

p5 会員活動紹介

- ◎株式会社 桐生なごみや(鈴鹿市)
- ◎スポーツコメントーター 鈴木美保さん(鈴鹿市)

p6 会員活動紹介

- ◎貴じん堂(伊勢市)
- ◎割烹 松半(四日市市)

p7 連載コラム

- 「ビューティーコンサルタント林かづの
伊勢志摩魅力再発見！」

p8 インフォメーション

- ◎パール倶楽部イベント案内
- ◎編集後記

「年齢や職業超え協力」

伊勢新聞パール俱楽部

津で設立記念総会

【津】県内の女性らでつくる「伊勢新聞パール俱楽部」の設立記念第一回全体総会が十二日、津市一身田上津部田の県生涯学習センターであった。県内の女性経営者や文化人ら四十三人が出席し、会則と初年度の予算案、事業案の三議案を承認したほか、小林千三社長の講演、交流会があった。

同会は、ビジネスや芸術文化、ボランティアなど各分野で活動する県内女性の交流を目的に昨年四月から会員を募集。ことし四月の本格始動に向けて準備を進め、現在の会員数は二十一八〇歳代の百三十三人。

総会では、中川製作所会長を務める中川千恵子会長をはじめ副会長ら執行部の七人を紹介。中川会長は「年齢や職業を超えて協力しながら能力を磨き、世の中の役に立ちたい。入会して良かったと思える結び付きや発信の場になることを望みます」とあいさつ。平成二十二年度の前期事業計画として、会報発行や京都研修旅行、講演会開催などを決めた。

小林社長は「三重は女性の比率が多い。女性はもっと社会進出して」と期待を寄せ、昨年世界新聞大会に訪れたインドや、北京視察での話題を紹介した。

会場はアレンジフラワーや風船、はちみつなど会員の出展もあり、親睦を深めていた。



あいさつする中川会長（左）と執行部のメンバー＝津市一身田上津部田の県生涯学習センター

（平成二十二年三月十三日付
伊勢新聞掲載）

○交流会出展

※五十音順で会員名を分けてあります

会員名	郵便番号	住所	電話番号	会社名	出展物
浅田 孝枝	510-0885	四日市市日永1-2-41	059-345-7770	アクアリュクス	○会社パンフレット
天野 瞳子	510-0807	四日市市末永町8-5	059-330-6688	有限会社ジイバング	○アレンジフラワー ○輸入雑貨
市川 さつき	512-0913	四日市市西坂部町3800-1	059-334-7531	株式会社くじラボ	○月刊KUJIRA3月号
稻垣 和美	510-0885	四日市市日永4-4-48	059-345-1710	株式会社稻藤	○伝統工芸 日永うちわ(5点) ○会社パンフレット
儀賀 美智子	510-0226	鈴鹿市岸岡町2257-1	059-386-3827	有限会社華賀きもの学院	○ちいさなぼでいー(自社商品)
清水 香里	510-0835	四日市市大井手1-2-10	059-353-0830	株式会社ゼロエンショブ	○風船 ○バラの花
田中 彩子	513-0844	鈴鹿市平田1-3-7	059-378-1417	医療法人誠仁会 塩川病院	○乳がん検診パンフレット
寺西 可奈	515-0063	松阪市大黒田町425-1	0598-21-1053	RICHILD	○ブリザーブドフラワー アレンジメント
南部 まり子	511-0257	員弁郡東員町北大社676	0594-76-3474	社団法人東員町文化協会	○広報誌『ひばり』59号・60号
浜口 依子	514-2305	津市安濃町清水903-123	059-268-4678	ほぼらあと あうら	○パソコン教室のプレゼン ○会社パンフレット
早川 由香利	512-8055	四日市市あさけが丘2-1-196	059-338-9022	Y'S COLOR	○ヨークアート ○会社パンフレット
古田 理江	510-0071	四日市市西浦1-5-2セルシオン種瀬1F	059-354-0531	有限会社花子さん	○イルミネーションブリザ ○オムツケーキ
水谷 太美	515-2133	松阪市松ヶ島町430-1	0598-52-0306	水谷養蜂園株式会社	○花粉80g ○プロポリス液体10ml ○松治郎の蜂蜜210g ○のど飴MIX 200g ○カナダ産結晶蜜 600g
村田 典子	516-0009	伊勢市河崎1-8-29	0596-25-7100	角仙合同株式会社	○伊勢春慶
山本 幸以	510-0822	四日市市芝田1-10-3 佐藤ビル201号	059-350-8330	KOIヨガ タイ古式マッサージスクール	○タイ古式マッサージ

○交流会出展(飛入り参加)

※五十音順で会員名を分けてあります

会員名	郵便番号	住所	電話番号	会社名
倉田 志子	514-1138	津市戸木町2022	059-255-2201	株式会社辻岡醸造
館 正代	510-0074	四日市市鶴の森2丁目1-19 三幸ビル306	059-355-8303	キャリアサークル
水谷 肇代	510-0821	四日市市久保田1-6-9	059-353-1510	株式会社桔梗屋

*当日参加分に関しては、出品物は調べておりませんので掲載を省かせていただきます

「見えぬ価値を見直して」

津観音の岩鶴氏 本社パール俱楽部で講演

女性が学習・相互交流する「伊勢新聞パール俱楽部」（中川千恵子会長）は二十七日、「津都ホテルランチバイキング＆津観音さん見学」を開き、会員と一般の女性約三十五人が参加。津市大門の同ホテルレストランで昼食を楽しんだ後、近くにある日本三大観音の一つ、恵日山観音寺（津観音）で院家・岩鶴密雄氏の講演を聞いた。



講演する岩鶴氏(左奥)=津市大門の恵日山観音寺で

「三重の文化力」と題した講演で、岩鶴氏は、日本人が戦後、本来豊かに持っていたはずの優しさや、やる気、愛、命といった「目に見えない物」を失つてしまつたと指摘。日本が持つていた、世界に誇る文化が「なくなつたことに気が付いてください」と訴えた。また、二十一世紀の世界は文化力競争の時代だとして、「おかげさまで」の言葉に象徴される日本の「目に見えないパワーをいま一度、見つめ直してほしい」と說いた。

県の世界遺産・熊野古道については、歴史的風土から生み出される思想を含めて世界遺産になつたと紹介。世界遺産は素晴らしい自然や建造物だけではなく、精神風土にも価値を見いだすのが世界情勢だと語った。ユーモアを交えた岩鶴氏の社会評に、参加者らは熱心に耳を傾けていた。

(平成二十二年二月二十八日付 伊勢新聞掲載)

京都通にも樂しめるを コンセプトに

伊勢新聞パール俱楽部が京都ツアーコンセプト

伊勢新聞パール俱楽部（中川千恵子会長）主催の京都ツアーコンセプト『知られざる本当の京都』が五月十四日に開催され、三十五人が参加した。

京都府は三重県に近く、参加者の多くが足を運ぶ機会が多い土地であることを考慮し、同ツアーコンセプトは『京都通にも樂しめる』を企画された。

参加者は黄檗宗の禅寺『閑臥庵』で京懐石普茶料理に舌鼓を打ち、寺内を散策。

その後、京菓子の名門『亀屋良長』にて三名水『醒ヶ井』を使用した和菓子作りを体験、銘菓鳥羽玉を堪能した。

最後に、『龍村光峯工房』にてヨーロッパ諸国で『光の織物』と賞賛される錦織作品と一般には非公開の古代裂復元について織物美術家の龍村光峯氏より説明を受けた。



龍村光峯氏より錦織作品について仔細な説明を受ける参加者(京都市北区の龍村光峯工房にて)

参加者からは、「普段では味わえない非日常が楽しめた」「個人で遊びに行つているだけでは知ることのできない京都が凝縮されたツアード」など高い評価を得ることに成功した。

親バカ子自慢

連載コーナー①

プリザーブドフラワー専門店
RICHILDは二〇〇二年五月創業。

取材当日は生憎の雨であったが、同店で企画営業を担当する寺西可奈さんは笑顔で出迎えてくれた。

同店は、各地で開かれる展示会やGARDEX（国際ガーデンEXPO）にも積極的に参加を表明している。

「母から求められる仕事への合格点は高いですが、前向きな思考を持ち、失敗を恐れずに挑戦をさせてくれます」と同氏は日ごろの感謝を母へ示す。



てらにしかな
寺西可奈さん

職業……企画営業
年齢……27歳
趣味……音楽

開発中の向日葵のプリザーブドフラワーを持つ寺西可奈さん＝松阪市大黒田町のプリザーブドフラワー専門店RICHILDにて

対し、可奈さんの母 豊子さんは「日本人はリスクを恐れて挑戦をし損じますが、娘にはどんどん前向きに挑戦をして勉強してほしい」とエールを送り続ける。

現在、可奈さんは向日葵のプリザーブドフラワー開発や同店オリジナルデザインの花器制作のため中国へ渡航するなど忙を極める。

同氏の仕事に対する真摯な態度と豊子さんの前向きな思考が好効果を生み出していることは言わずもがなではないだろうか。

前向きな思考とリスクを恐れない挑戦が好効果を

プリザーブドフラワー専門店 RICHILD

39の輪（四日市市）

学童保育を通じて人間愛の復興を

子どもたちが夢や希望を見出だせる社会づくりとそのサポートをしていきたい。

その思いのもと、山本幸以さんが中心となり、知人らを集め結成されたのが「39の輪」。

パール倶楽部では山本さん以外に佐野恭代さん、清水香里さん、古田理江さんらが参加。昨年10月からは学童保育にスポットを当て、2ヶ月に一度集まり、市内で活動する学童関係者や行政関係者と議論し、より学童保育が活用されるためにはどうすべきかを検討している。

学童保育とは労働などで昼間保護者がいない家庭に対し、放課後保護者に代わって保育を行うことで、山本さんは39の輪メンバーとの会話で「学童保育」の存在を知った。

「現代社会を考えたとき、女性の社会進出や家計の事情、またシングルマザーの増加という現実において放課後の子どもたちの安全確保が必要不可欠です。また39の輪の目指す『人間愛の復興』が学童を通して実現できるのではないかと、その可能性に希望を見出しました」と山本さんは学童保育の必要性を語る。

今後は指導員や保護者へのアンケートを行い、市の学童保育所連絡協議会と連携を図りながら行政にシステムの見直しを提案していく予定だ。



「学童保育」について議論する39の輪メンバー（左から山本さん、清水さん、古田さん、佐野さん）＝四日市市芝田

カイロプラティックと タイ式マッサージで 心も身体も健康に

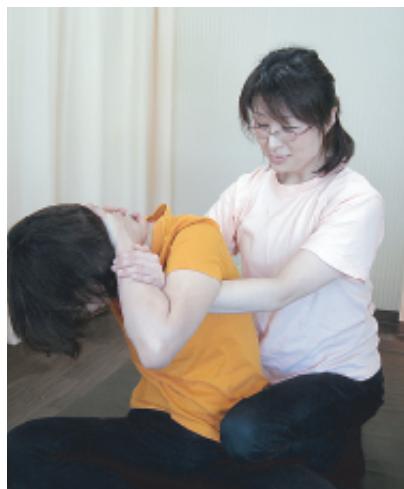
株式会社 桐生なごみや

「一般企業への就職の内定も出ていたのに、より人の役に立つ仕事がしたくて、両親を説得してこの道に入りました」と語るのは『なごみや』のカイロプラクター桐生美智代さん。大学在学中からマッサージ店・整体院でアルバイトをしながらカイロプラティックの専門学校に通い、卒業後、整形外科での勤務を経て、鈴鹿のパール美容院内でカイロプラティックコースを担当。そして昨年の7月、鈴鹿にカイロプラティックとタイ式マッサージのお店「なごみや」をオープンし、地元で自分の店を開く夢を叶えた。

店では施術前には必ずカウンセリングの時間を設け、おいしく食事が取れているか、夜良く眠れているかなどをチェックし、訪れる人の心と身体両面のケアを心がけている。「ここに来て普段話せないような悩みや問題を口に出すだけでも、すっきりして楽になっていただけることもあるんですよ」と同氏。客とのコミュニケーションも、その人を

健康にする為に大切なことだと考えている。

今後の目標について、同氏は「去年オープンしたばかりですので、経営的にもしっかりとしたいんですけど、今後は皆様に頼りにされるような、なごみやに来れば心も身体も良い状態になると思っていただけるようなお店にしていきたいです」と語った。



住 所：鈴鹿市飯野寺家町 831
お問い合わせ：059(384)7538
営 業 時 間：平 日 11:00～19:00
土・日 9:00～17:00
定 休 日：火
U R L : <http://nagomiya.ehoh.net/>

株式会社桐生なごみや
のカイロプラクター桐
生美智代さん＝鈴鹿市
飯野寺家町の株式会社
桐生なごみやで

21年間の競技選手としての 知識・経験が地域社会の架け橋に

会員活動紹介

スポーツコメンテーター 鈴木美保さん

二十一年間の競技人生で培った知識や経験を講演やシンク口语講師としての活動を通じて伝え、地域社会の架け橋となるのはスポーツコメンテーターの鈴木(旧姓 武田)美保さん。

同氏は五歳から水泳の名門京都踏水会にて水泳を始め、中高・大と大阪市に教室を構える”井村シンクロクラブ（井村雅代氏の元）”で競技選手としての心構えを学んだ。

『継続は力なり』という格言が示すよう、練習を反復することにより、競技への可能性は広がり続け、ぶれることのない自信が日本女子選手史上最多のメダル獲得の一助となつたと同氏は話す。

「オリンピック選手として活躍することに才能は関係ありません。自分を知り尽くし、目標を設定した上で継続することが何よりも重要です」と鈴木さん。

また、”頑張った”で終わることなく最終目標達成への筋道を客観的に考え、計画的に実行していくことの重要性についても話してくれた。

最後に同氏は自身の今後について、今の活動を継続させながら出版活動などにも幅を広げて取り組んで行きたいとの意欲を見せた。



日本女子選手史上最多のメダル獲得数を誇るスポーツコメンテーターの鈴木美保さん＝鈴鹿市内で

名 前：鈴木美保
職 業：スポーツコメンテーター
年 齢：33歳
趣 味：香水・キャンドル収集

ベンチ設置目標数100台!! 式年遷宮までに伊勢市内広域設置を目指す

会員活動紹介

貫じん堂



おかげベンチのスポンサー募集チラシを持つ辻村さん=伊勢市産業支援センター内

住 所：伊勢市朝熊町 4383-469
(伊勢市産業支援センター内)
お問い合わせ：0596(26)2088 (TEL&FAX)
営 業 時 間：9:00～17:00
定 休 日：土日・祝日
U R L : <http://www.kanjindo.jp/>

また、同氏は伊勢市観光活性化プロジェクト会議の企画部会にも参加しており、市内在住の子ども達が「一日伊勢つ子案内人（地域観光案内人）」として同市を訪れる観光客におもてなしの心を持つて接することができるよう育成するなど、ボランティア活動にも積極性を見せます。

「おかげベンチ」は『街の景観保護』『森林保全』『障がい者自立支援』を目指し（詳細は<http://www.kanjindo.jp/>）、スポンサーとなるベンチ広告主の協賛金により支えられている。協賛企業には、ぎゅーとらや赤福などの地元企業のみならず、アサヒビールなどの大手企業も名を連ねる。現在のスポンサー数は二十一社、伊勢市・玉城町で三十五台の設置数を誇る。

「おかげベンチ」は『街の景観保護』『森林保全』『障がい者自立支援』を目指し（詳細は<http://www.kanjindo.jp/>）、スポンサーとなるベンチ広告主の協賛金により支えられている。協賛企業には、ぎゅーとらや赤福などの地元企業のみならず、アサヒビールなどの大手企業も名を連ねる。現在のスポンサー数は二十一社、伊勢市・玉城町で三十五台の設置数を誇る。

会員活動紹介

本物の和食の素晴しさを伝えたい

割烹 松半

「元々はOLとして働いていましたが、結婚と同時に主人が店を開きまして、今の仕事に就くことになりました」と語るのは『割烹 松半』の女将 松井きみ子さん。

松井さんに飲食業の経験はなく、最初はとまどうことも多かったという。

割烹 松半は1978年開店。季節の食材を一番の調理法で食べてもらいたいという主人の強い希望から、献立表のない「おまかせ」で料理を出す形態を取っている。

開店当初の四日市ではそうした店は珍しく、客への説明に苦労したという。

「お献立表からお客様が選ぶ形ですと、どうしてもそのお客様が普段食べ慣れているものに偏りがちです。せっかく来て頂くのですから、今まで体験したことのないおいしさを味わって頂きたいんです」と同氏。

『本物』が少なくなっている昨今、和食の素晴らしさを一人でも多くの人に伝える為に、様々な趣向を凝らしている。

「お献立は季節によって変わっていきます。お手軽なお昼の松華堂弁当もご用意しておりますので、是非一度お店に来て頂き、私たちの料理を味わって頂ければと思います」

今ではすっかり板についた女将のおもてなし、料理と共に一度味わってみてはいかがだろうか。



松井きみ子さん=割烹 松半店内にて

住 所：四日市市鵜の森 1-3-3
お問い合わせ：059(351)5166
営 業 時 間：11:30～13:30
17:00～22:00
定 休 日：日曜日

ビューティーコンサルタント 林かづの

伊勢志摩 魅力再発見!

vol.4

また、最近人気が出でてきたのが「岩ガキ」。夏ガキとも言われています。冬の力キと比べ大きさは4・5倍があり、味も濃厚。まさに海のミルクという食感。栄養価も高いといわれています。最近では、鳥羽国崎で、養殖されて「三重ブランド」にもなっています。

そして、忘れてはいけないのが、「ウニ」。ウニにもいろいろな種類がありますが、是非おすすめなのが、「赤ウニ」です。こちらも、海女の解禁を待つて夏出回るもの。近年では、採れる量が少なく、希少価値も高いのです。しかし、食べてみる価値は十分にあり。半分に切って、まだトゲが動いているほど新鮮なウニをスプーンでくっつて口に運ぶと、口中で三回味が変わること。初夏の日差しを受けて、山々の緑は色鮮やかに、そして海の青さが目にまぶしい季節になつてきましたね。こちら、伊勢志摩では、夏の味覚が、続々登場してきました。

さて、夏の味覚の代表格といえば、「アワビ」ですね。伊勢志摩では、6月初旬に「口開け」といわれる、海女の解禁があり、秋冬の味覚である「イセエビ」に代わって伊勢志摩の海の幸の主役となります。「リリツ」とした食感を楽しむなら、お造りで。柔らかな食感を楽しみたいなら、火を入れて、ステーキや踊り焼き、バター焼きがおすすめです。他にも、さいの目状に切つて冷たい海水に浸した「水貝」も美味しいですよ。又、「アワビ」は、古来から滋養にいいといわれ、この地方では、手術をされた方へのお見舞いに持つて行きます。傷の回復が早くなるからだそうです。又、妊婦さんにも、オスとメス一对のアワビを食べさせると瞳の綺麗な赤ちゃんが生まれるといわれています。アワビの肝も、目によいといわれていますので、お造りを召し上がるときには是非、肝しようゆで。



岩ガキ

さあ、このように 伊勢志摩の夏は「食べる」楽しみも満載。今年の夏は、釣りや海水浴、温泉などもたっぷり楽しんで、思い出作りをしてみてはいかがでしょうか。

プロフィール ●林 かづ

鳥羽市在住。伊勢市出身、伊勢高校卒。ビューティーコンサルタント、ヨガインストラクター、レイキヒーラー、お宿アドバイザーとして伊勢志摩地域で活躍中。伯父は宇治山田商業高校卒、元読売巨人軍ピッチャーで現・JR東海ピッチングコーチ中村稔氏。

パール俱楽部イベントのお知らせ

〈7月講演会〉

ベストセラーの仕掛け人が教える 文章のコツ・本づくりの舞台裏

日 時 平成22年7月31日(土)

13:30~16:00

第一部 講 演 会(1時間程度)

第二部 文章講座(1時間程度)

場 所 四日市文化会館第2会議室

(四日市市安島二丁目5-3)

講 師 編集者・藤田正明さん

元エフエー出版編集長。ドラマ化書籍『1リットルの涙』などを企画

会 費 500円

〈9月イベント情報〉

魅惑の旅 神 戸

日 時 平成22年9月17日(金)

会 費 未定

内 容 フランス料理界の重鎮 ベルナール・ロワゾー氏の朝食メニュー『世界一の朝食』を再現する山口浩氏が総料理長を務める神戸北野ホテルで昼食・ホテル内観光を行います。その後、1751年創業の灘の酒蔵“酒心館”を訪れ、脈々と受け継がれた灘酒の最高の品質と伝統を学習し、造詣を深めます。



伊勢新聞パール俱楽部事務局

〒514-0831 三重県津市本町34番6号

株式会社伊勢新聞社事業部内

TEL:059(224)0003 FAX:059(226)3554

HP:<http://www.isenp.co.jp/plc/>

●会員名簿について

今号の会報とともに平成二十二年六月現在の会員名簿が同封されています。

当然のことながら当俱楽部では第三者に名簿は配布しておらず、個人情報が外部に漏れないよう、細心の注意を払い対応しております。

会員の皆様におかれましても名簿の取扱には十分注意の上、外部流出がないようお願い申し上げます。

●メルマガについて

伊勢新聞パール俱楽部事務局は『伊勢新聞パール俱楽部メールマガジン(以下メルマガ)』と銘打つメルマガを昨年9月17日より1回第3水曜日に各会員様へお届けしております。まだ、メルマガがお手元に届いていない方・メルマガの存在を初めて知った方は伊勢新聞パール俱楽部事務局又はpearl@isenp.co.jpへご一報ください。

その他意見も受け付けております。

●編集後記

5月14日金曜日は『知られざる本当の京都～パール俱楽部京都ツアー～』に多数御参加いただき、誠にありがとうございました。

一般的な京都ツアーでは訪れないような所ばかりをピックアップし、古都京都をより深く楽しんでいただこうと企画を提案したつもりですが、楽しんでいただけましたでしょうか。

道中は会員の皆様から色々なご意をお聞かせいただき、今後のパール俱楽部の運営の励みとなりました。今後とも皆様に楽しんでいただけるようなイベントを提案できるよう、事務局一同努力して参ります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

伊勢新聞パール俱楽部事務局 龍村